

編集後記

日本語ジェンダー学会は、「ことば」とりわけ「日本語」に関心を抱く人々の集まりであるが、日本語の姿を捉えるには、日本語の中に自閉するのではなく、他の言語との、また、他の言語の話者との関わりを積極的に求めることが有用であることは言を俟たない。本学会は設立当初から他の言語の話者による参加を得て活発な活動を行ってきたが、第10号も、米国ウエストミシガン大学での研究例会での講演や発表を基にした意欲的な論文、中華人民共和国からの留学生による研究ノートを得て、本学会の大きな特徴である国際性が明らかになった。また、年次大会で議論されたビジネスの世界でのジェンダーについての報告、言語政策における位置づけに関する論文は、人々の暮らしをよりよくするための研究という、本学会のもう一つの基本的な姿勢を示している。第10号という記念すべき号が本学会の根幹を遺憾なく示すものとなったことは、本学会の歩みの確かさを示し、今後の発展を告げるものと言えよう。(編集委員長 因京子)

編集委員 (*は委員長)

宇佐美まゆみ、小川早百合、門倉正美、斎藤理香、*因京子、日置弘一郎、山崎佳子、渡部孝子

査読協力者

佐々木瑞枝

日本語とジェンダー 第十号

2010年6月発行

編集者 日本語ジェンダー学会
学会誌編集委員会

発行者 日本語ジェンダー学会

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

群馬大学教育学部

渡部孝子研究室

TEL 027-220-7355

E-mail wat@edu.gunma-u.ac.jp

ISBN 4-9900828